

Cyber Shipping Guide

Presented by Ocean Commerce Ltd.



ご購入 ニュース スケジュール キャリアー・フォワーダー情報 資料室 [PDF] ISPMLレポート ご案内 English

ニュースの検索結果

レイアウト変更: [全文表示](#)

[35 件の該当レコードのうち 1 から 35 件めまでを表示中]

検索語:

書類アイコンをクリックするとその記事の本文を読むことができます。

検索結果は記事作成日の昇順(旧→新)に並んでいます。▲ [降順\(新→旧\)に並び替える](#)

ジャンル	記事タイトル	本文の表示/非表示
 海運	<p>Zepolまとめ、6月のアジア→米国荷動き 前月比5.3%減とプレーキ、日本は2.3%増とやや盛り返し(11-07-14)</p> <p>米調査会社Zepol Corporationが米税関AMS・B/Lデータを基にまとめた今年6月のアジア主要10カ国から米国向けコンテナ荷動きは、主力の中国積みをはじめ上位国が失速したことで前月比5.3%減の109万9,030 TEU、前年同月比でも10.5%減とプレーキがかかった。</p> <p>積み地別では最大の中国積みが前月比5.4%減の65万6,955TEU、韓国積みが同5.5%減の11万8,846TEU、香港積みが同8.2%減の9万5,736TEU、台湾積みが同6.8%減の7万7,076TEUと上位4カ国が前月から下落。日本積みは同2.3%増の5万11TEUと震災による減少からやや盛り返したが、前年同月比では12.5%減。</p> <p>このほか、ベトナム積み(同10%増・1万9,511TEU)、タイ積み(同2.1%増・1万3,482TEU)は増加を維持したものの、シンガポール積み(前月比8.7%減・4万3,018TEU)、インド積み(同7.1%減・1万2,341 TEU)、マレーシア積み(同8.2%減・1万2,055TEU)は減少した。</p> <p>日本積みの主要輸出企業35社合計は前月比20%減と再び落ち込み、うち産業別では自動車部品24%減、タイヤ29.8%減、建機27.5%増と自動車関連への震災の影響が続いているもよう。</p> <p>日本の積み港別では、東京積みが前月比5.8%増の1万5,841TEUで震災前(3月、1.65万TEU)に近づいている一方、名古屋積み(同12.4%減・1万1,687TEU)、清水積み(同6.5%減・2,073TEU)は震災以降3カ月連続でマイナス。神戸積み(同2.5%増・9,086TEU)、横浜積み(同0.5%増・6,615TEU)はわずかながらプラスに転じ、博多積みは前月から約1,000TEU増加し1,659TEU、震災前から5倍以上となっている。</p> <p>一方、日本から釜山T/Sの米国向けは最大の博多出しが減少したことで前月比20.5%減の4,530TEU。港別では博多出しが同41.2%減の1,262TEU。震災後に急増した日本海側6港(新潟・苫小牧・秋田・金沢・直江津・富山)からの釜山T/Sは前月比10%減の825TEUと落ち着いたものの、震災前3月に比べるといぜん約4倍となっている。</p>	<input type="button" value="表示/非表示"/>
 業績	<p>三井物産 PortekにTOBかけ8月下旬に成立へ 海外ターミナル事業強化で国際物流拡大(11-07-14)</p>	<input type="button" value="表示/非表示"/>
 海運	<p>米國小売業向けコンテナ荷動き予測 6-8月は前年割れ、9月に急増か(11-07-14)</p>	<input type="button" value="表示/非表示"/>
 海外港湾	<p>ロサンゼルス港 6月取扱量12.3%減少 小売低迷で輸入が2ヶタ減(11-07-14)</p> <p>米ロサンゼルス港の今年6月のコンテナ取扱量は、64万794TEUと前年同月の73万317TEUから12.3%の減少となった。このうち輸入(実入り)は同10.2%減の33万3,894TEUと低迷、輸出は同5.6%増の16万3,137 TEU、空コンは輸入減少・輸出増により同29.5%減の14万3,763TEU。</p> <p>経済危機からの回復にともなうラッシュでピークシーズンが早まった前年からの反動に加え、米国内では失業率が9%以上に高止まり、ガソリン価格高騰もあり小売り売上げが低迷し在庫高を招いていることが主因とみられる。</p> <p>1-6月累計では、前年同期比2.8%増の376万7,227 TEU、このうち輸入(実入り)</p>	<input type="button" value="表示/非表示"/>

